

# ピアネット monthly Apr. 2019

ピアネット・マンスリーの発行について

ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット事務局》

## 【学習ステーション】

### 「新入生サポート」を実施しました

学習ステーションでは、新入生が充実したキャンパスライフをスタートできるよう、毎年「新入生サポート」を実施しています。今年度は4月1日（月）～4月12日（金）の10日間（6日、7日は除く）にわたり新設した大内山校舎1階の学部窓口前に特設のブースを設け、学内施設案内や時間割の組み方、サークル活動や大学生活など、新入生の様々な質問に対応しました。

初めて活動する新入生サポーターは、当初はぎこちなく戸惑う場面もありましたが、新入生への対応を重ねていくうちに、自分たちの当時の姿を重ね合わせて親身に向かい合い、最後は先輩として堂々とアドバイスすることができました。1,190名超の新入生と接することができ、学生スタッフ自身も一回り成長を実感できたのではないのでしょうか。



時間割の組み方などの質問でブースが賑わいました



## 新入生対象講演会「尾木ママが教えるわよ〜♪有意義な大学生活って？」を実施しました

4月11日（木）にボアソナード・タワー26階スカイホールにて、「尾木ママが教えるわよ〜♪有意義な大学生活って？」と題した新入生対象講演会を開催しました。「尾木ママ」でおなじみの尾木直樹氏（元法政大学教授）を講師にお招きし、新入生152名が参加しました。

新入生サポートの一環として企画された本講演会は、入学したばかりの新入生を対象とし、学生スタッフが自ら講師への依頼、イベントの告知、会場設営の準備、当日の運営に至るまでのすべてのプロセスを主導し、実現しました。本講演会では、学生と生徒の違い、大学入学共通テスト導入に伴う変化、OECDが示すEducation 2030について、説明がありました。中でも、今後は“生き延びる力”を養うことが重要であるとお話しされ、真剣に耳を傾ける新入生の様子が見受けられました。

質疑応答では、大学生活を送る上での不安や疑問に関して、一つ一つの質問に寄り添い丁寧に回答いただきました。また、新入生の感想として「尾木先生の話聞いて、自分から動いて探していく姿勢を大切にしていきたいと思いました」「興味・関心のあることを見つけて探求できるような大学生活にしたいと思いました」「大学生のうちに自分自身の人間性を高めていきたいと思いました」「とても楽しくて素敵な時間を過ごせて良かったです」など、多くの感想が寄せられました。



新入生に力強い言葉を投げかける尾木直樹氏



企画から当日の運営を行った学生スタッフ

## 【グローバル教育センター】

毎週月・水・金のお昼休み以降（3限以降はスタッフの状況による）にJラウンジを実施しています。

Jラウンジとは、日本語を学ぶ留学生が日本人学生と「日本語」でおしゃべりできる交流スペースです。

留学生が授業以外で生きた日本語を学び・使う場として、日本人学生スタッフがお昼休みや授業の空き時間を利用して運営しています。場所は大内山校舎2階で、どなたでもご利用いただけます！

留学生と日本語でおしゃべりをしに、ぜひ来てください☆



Jラウンジの様子



## 【ボランティアセンター】

### 「ベイラー大学との合同ボランティアツアー」を実施しました

市ヶ谷ボランティアセンターでは3月11日(月)、12日(火)にアメリカのベイラー大学の学生8名とVSPメンバー5名の共同で「ベイラー大学企画」を実施しました。「子ども食堂」や「子どもの居場所」に関するボランティア活動や、日本の文化について知ってもらうための東京観光を行いました。法政大学の海外交流協定校であるベイラー大学のミッショントリップの一環で、私たちVSPはその活動のサポートをしながら一緒に活動しました。1日目は、荒川区内の子ども食堂やおもちゃ図書館でのボランティア活動や、明治神宮・原宿・渋谷といった東京を代表する観光地巡りを行いました。子ども食堂では、ベイラー大学の学生が自分たちで料理を作り、子どもたちに喜んでくれたので充実した活動になったと思います。また、おもちゃ図書館では乳幼児の遊び相手になって子どもたちとふれあいました。普段は乳幼児と接することがないので、私たちにとっても新たな発見が沢山ありました。2日目は、日本の文化や歴史をより知ってもらうことを目的に、焼き鳥体験や歴史博物館見学などを行いました。焼き鳥体験では、肉や野菜を串に刺すところから炭火を使って実際に焼くところまでをお店のスタッフさんに教えていただきながら行い、ベイラー大学の学生とも楽しく交流することができました。その後は江戸東京博物館や浅草に行き、今まで知らなかった日本を感じ取ってもらえたのではないかと思います。

2日間の活動の中で、特に印象深かったのは子ども食堂での出来事です。

ベイラー大学の学生は日本語をほとんど話せません。ですが積極的に子どもたちとコミュニケーションを取ろうとした彼らの思いが伝わったのか、食堂の子どもたちも気持ちを一生懸命伝えようとしてくれました。その様子を見て、言葉は通じなくても気持ちを伝えようとするのが大切だと学びました。この企画を実施するまでは、「私は英語を話せないからベイラー大学の学生とちゃんと交流できないだろうな…」と思っていたのですが、上手く言葉で伝えられなくても気持ちを汲み取ろうとしてくれたので楽しい時間を過ごせました。今後は今回できなかったことや上手くいかなかったことを生かし、一般学生の皆さんが楽しみながら交流を図ることができるような企画を考え実施していきたいです。



子供食堂でのボランティア



日本の食文化に触れるベイラー大学生をサポート



ライブラリーサポーター大募集

## 【図書館】

### 「第12期ライブラリーサポーター募集！(市ヶ谷・多摩・小金井)」

学生目線で、私たちの図書館をより魅力的なものにしていきませんか？アイデア出しや企画準備を行う“ミーティング・懇談会”，書店へ行き図書館へ置く本を選ぶ“選書ツアー”など、さまざまな活動をしています。詳しくは、図書館ホームページよりご確認ください。

URL：<https://www.hosei.ac.jp/library/>

## 【FD推進センター】

### 「学生FDスタッフを募集します！」

学生FDスタッフは、大学教育・学生生活を主体性のあふれる充実したものにしていくために、「学生が選ぶベストティーチャー賞」をはじめ、授業の質の向上に向けた取り組みや学生生活の充実に向けたアクションを推進していきます。

学生、教員、職員の三位一体で法政大学をより良くしていきませんか。



学生FDスタッフ大募集

## 【編集後記】

新年度がスタートしました。4月3日(水)に入学式が行われ、希望と不安に満ち溢れた新入生の姿が多く見受けられました。新年度は色々な意味で新しい環境がスタートするときです。新たな人間関係を築き上げるのにエネルギーを必要とし、少なからずストレスも感じてしまいます。

そこで、新しい環境に早く溶け込むためのオススを3つ紹介します。

①周りにいる人の顔と名前を覚え、自ら歩み寄る(人間関係の構築から始める)②挨拶をはじめとするコミュニケーションを大事にする③清潔感のある身だしなみを心掛けるです。私のこれまでの経験上、これらを意識して行動に移せば、新しい環境にいち早く馴染めるはず。みなさんもぜひ、試してみてください。ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。